平成29年度第6回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

平成29年度第6回定例松本市教育委員会会議録

平成29年度第6回定例松本市教育委員会が平成29年9月28日午後3時00分波田公民館大会議室に招集された。

平成29年9月28日（木）

議 事 日 程

平成29年9月28日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 あがたの森文化会館整備運営委員会の設置について

[報告]

第1号 平成29年市議会9月定例会の結果について

第2号 第6回学都フォーラムの開催結果について

第3号 松本市市制施行110周年記念

JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果について

第4号 第38回姫路市・松本市中学生交歓キャンプの実施結果について

[周知事項]

- 1 「第58回松本市芸術文化祭」及び「第61回お城まつり」の開催について
- 2 松本市市制施行110周年記念事業 「第23回 図書館まつり」の開催について
- 3 松本市市制施行110周年記念／松本市美術館開館15周年記念
「彫刻家・細川宗英展 人間存在の美」の開催について
- 4 松本市市制施行110周年記念 松本市立博物館本館・分館の企画展開催について
- 5 乾小天守旧鯨の確認について

[その他]

[出席委員]

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	花 村 潔
〃	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江

[出席職員]

教 育 部 長	矢久保 学
教 育 政 策 課 長	小 林 伸 一
教育文化センター所長	中 村 誠
学 校 教 育 課 長	麻 田 仁 郎
学 校 指 導 課 長	横 田 則 雄
学 校 給 食 課 長	山 田 賢 司
生涯学習課長 兼	
中央公民館長	高 橋 伸 光
中 央 図 書 館 長	瀧 澤 裕 子
文 化 財 課 長	大 竹 永 明
松本城管理事務所長管理担当係長	長 岩 政 雄 (松本城管理事務所長代理出席)
美 術 館 副 館 長	清 澤 秀 幸
博 物 館 館 長	木 下 守
博物館事業担当課長	関 沢 聡

[事務局]

教育政策課 教育政策担当係長	甕 国 人
教育政策課 教育政策担当係長	堀 敬 子

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は平成29年度第6回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

赤羽教育長 本日は、波田公民館が7月末に新装オープンしたということで、文化財展示も含めて見学させていただきました。素晴らしい施設になり、多くの方々に十分活用していただけたらありがたいなと思っています。

今月は「学びの9月」として、学都フォーラムを始め、多彩な催しがありました。本当に皆さんのお力で、「学都松本」が市民の皆さんに少しずつ定着してきたことをうれしく思っています。

もうすぐ10月となりますが、今年の秋は比較的晴天に恵まれ、秋の運動会も大きなけがもなく順調に開催されました。

今朝の新聞にも出ていますが、秋の好天により、農作業も順調のようです。私も町会の仲間と25年程御柱に使う丈の長い種類「せきとり」を作ってきました。御柱のない普段の年は、コシヒカリを主にしてもち米も作り、せきとりは種もみの分だけ作ります。御柱の2年前からせきとりを沢山作って綱寄りに備えます。

昨年の9月は天候不順で稲が倒れた上に水につかりモミから芽が出てしまったり稲藁が腐ったりと大変な年でした。

今年の9月はすでに3日農作業をやり、もち米の稲刈りと脱穀、せきとりの稲刈りと脱穀、コシヒカリの稲刈りと順調に作業が進んでいます。あとは、コシヒカリの脱穀を残すだけとなりました。今年は非常に豊作かなという感じがしています。

作業はみんな高齢ですので、1時間作業すると15分休むというような形でやっていますが、その休み時間の会話が何とも楽しいのです。近況に交え、飲み屋での失敗談やキノコ採りの話題など15分ではとても語り切れません。時間が来るとさっと切り上げてまた寡黙に農作業です。全体が分かっているので、誰も指示しなくても自分が動いて作業が効率的に進むよう取り組んでいます。見事な動きです。

一つの目的に向かっていると体で自分が何をすべきかわかる。誰も指示しなくても動ける。まさに理想とする授業の姿と重なるような気がしています。先生と子どもが同じ目的で歩み出すと体が動き誰の指示がなくてもすべきことが

分かり他人の動きが理解できる。

そして、作業が終わると、「ごくろうさん」と言いながら何事もなかったように解散となる。そんな日常もとても価値のあることのように思えるこの頃です。

農作業は効率が大切です。いかに無駄なく動くか。いかに手際よく体に負担をかけず、そして短時間で終わらせるか。何より人の動きが手に取るように分かります。隠すことはできません。周りの人の動きを見ながら自分の動きを考える。そんなことを積み重ねて日本人が形づくられて来たと思いますが、最近はずっかり様変わりしました。人の働く生の姿を見る機会がなくなりました。働くという概念すら変わってしまったとも思える最近です。

子どもたちは、働くということをどうとらえているのか。もう一度しっかり見ていく必要があると思うこの頃です。

それでは、本日の3分間スピーチは美術館の清澤副館長にお願いをいたします。

美術館副館長 「家族旅行をして思ったことについて」 3分間スピーチ

教育長 ありがとうございます。

次回は中嶋松本城管理事務所長ですので、よろしくお伝えください。

《署名委員の指名》

本日の会議録署名委員は、市川委員、花村委員です。

《議事録の承認》

教育長 平成29年度の第3回と第4回の会議録の承認についてはよろしいでしょうか。

教育委員 結構です

《議案審議》

教育長 本日の案件は、議案が1件、報告が4件、周知事項が5件です。

<議案第1号> あがたの森文化会館整備運営委員会の設置について

生涯学習課長 議案第1号「あがたの森文化会館整備運営委員会の設置について」趣旨、要綱（案）、委員構成、委嘱予定者、任期、今後の取組みを説明
教育長 ご質問、ご意見等よろしいですか。
ないようですので、第1号議案については、承認することといたします。

<報告第1号> 平成29年度松本市議会9月定例会の結果について

教育政策課長 報告第1号「平成29年度松本市議会9月定例会の結果について」趣旨、会
期等について、議案等の審査結果について説明

赤羽教育長 ご質問、ご意見等よろしいですか。

花村委員 9月定例会の一般質問の中で特別支援学級の子どもの数が増加していること
をお話いただきました。特別支援学級の補助の先生を減らしましょうということ
をお聞きしましたが、片方が増えて片方は減らしていくということは矛盾し
ているような気がするのですが、これについてはどのように考えているのでし
ょうか。

学校指導課長 特別支援学級と申しますか、特別支援学級に支援員がついているということ
ではなく、特別に支援が必要なお子さん個人についております。これは、3年
ぐらいかけて整備をしてきております。

花村委員 そうですか。私が聞いたのは、個人のことなのですね。
では、支援学級はどうなのでしょう。

学校指導課長 支援学級は県費の教職員で支援学級の担任として位置づけられておりますの
で、兼務ということはありません。今、お話を伺っていて兼務の状況があった
のは、小学校に適応指導教員として入っていた先生で昨年度までは2校兼務で
13人が26校に勤務していました。例えば月、火、水曜日はA校、木、金曜
日はB校という形になっていた状況が昨年度までありました。今年度はそこを
整理して自立支援教員という形で再配置をいたしましたので、本年度の兼務は
ありません。

花村委員 個人の特別支援の場合の数は増加して、支援の先生方は増加していないとい
うことですが先生は足りているのでしょうか。

学校指導課長 特別支援学級にいるお子さんは、その年々によって違い、お子さんたちが必

ずしも特別支援教員支援員が必要だという見立てではありません。普通学級にいるお子さんでも支援が必要なお子さんがおりますので、毎年状況が変わってきます。ですので、支援が必要なお子さんの数が変わると支援員の数も変わります。

教育長 その辺は非常に難しいところです。本当にその子にとって、どういう支援が必要かという見極めが一番難しいです。学校指導課で考えていただいていることは、過剰な支援はしないことです。その子が本当に自立に向かっていくために、どういう支援が必要かということです。まさに花村委員がおっしゃったように、今までは兼務で1時間目はこの子のところに行って、また違う学校ではあの子のところに行くというように支援する先生も大変ですし、支援をされる側も大変だったと思います。特に障害者差別解消法等の導入もあったことから、きちんと支援に必要な順序を決めてもらいました。こういう子には全部指導主事が訪問して見て、そしてこの子にはこういう支援が必要だということで、時間数まで決め個別対応で支援員をつけていく。そして、その成果の様子を見ながら、支援を少しずつ引いていった方が良ければ、引いていこうというような形をとっています。時間等については、非常に難しいところです。

花村委員 一つ少し懸念していることは、今、こども病院でかなり自宅療養している子が増えています。今、私たち医者に自宅で何かあったら頼むと病診連携のような形で自宅療養する子どもが増加しております。そういった子どもたちが今後増加すると思っており、そういったことの対応や考え方は、どのように考えていったらいいのでしょうか。

学校指導課長 このことに関して、信大病院の中に院内学級があり試験的な取組みをしていることをお聞きました。結果がどのようになったのか伺っておりませんが、病院に入院していた子どもたちが、治療の見通しが立ち自宅に戻れることになったのですが学校には通うことは出来ず、自宅と病院と行ったり来たりというような子どもについて、院内学級の先生方が、タブレットという通信網を使って学習が進められないかというようなことを考えていらっしゃいました。信大病院の研究の取組みでタブレットなど「SIMカード」というのでしょうか、病院の外へ持ち出しても通信できるよう病院の予算が研究費のような形で付いたということをお聞きました。しかし、病院の中だと病院の中のシステムでやりと

りができますが、1回外へ持ち出すと外部の電話回線的な通信網を使わないと「SIMカード」が必要で、通信費をどこで出すかということもありますが、一つの取組みとして、タブレットを使用しオンライン上で同じ授業の様子を画像で撮り自宅に流すことが出来るのではないかとこのところまで話しましたが、その結果がどうなったかはお聞きしておりません。しかし、これは院内学級にいた子の繋がりという取組みで、現状、自宅で療養している子どもに自宅訪問をして支援をすることはしておりません。県では入院しているお子さんに教員を派遣し学習支援をするということをしてありますが、自宅療養中のお子さんにどのようなケアがあるかということは私の知っている範囲では聞いたことはありません。

花村委員 恐らく喫緊、そういう例は出てくると思います。

教育長 ですので、その辺はこれから研究していくことだと思います。いわゆる原級というのでしょうか、例えば院内学級なら旭町中学校なり旭町小学校に在籍していて、その間は院内学級の先生たちが対応しますが、学校に帰ってから入院を繰り返しているお子さんが学校に帰ったときの学力保証等をどうするかということが問題となります。その点では、いわゆる在籍校ともまた連携をとりながら、きめ細やかに対応していかなくてはいけないと思います。学校指導課でも院内の状況を把握してください。以前、私も院内学級に行った際、信大生のボランティアの学生が2人で英語を教えていました。子どもたちがとっても喜んでおり、やはりタブレットより人が行って教えた方が絶対喜ぶと感じました。いろいろな無駄話等をしながら、一緒に勉強をするということが心の成長に大きく関わっていると思います。今、花村委員がご指摘いただいたことは、これから沢山出てくると思います。

他にご意見等ありますでしょうか。

市川委員 特別支援教育支援員の質と言いますか、どのような基準でお願いしているのでしょうか。学校訪問に5校行きましたが、一緒に回ってくれている先生方の話をお聞きすると「こういう人に来てもらえればありがたい」「任期も5年以上は無理」「できたらこの先生にもう少しいてもらえれば」等のお話をよくお聞きするものですからお聞きしました。

学校指導課長 私たちが言っている特別支援教育支援員という方は、市の2種臨時職員で1

年ごとに更新です。実質的には同じ職場に連続してお勤めになることはあります。今、市川委員さんのお話の5年というのは、非常勤特別職の自立支援教員で、教員免許を持っている方たちのことだと思います。学力向上推進教員や自立支援教員、いわゆる教員と呼ばれる皆さんは教員免許を所持しています。支援員は教員免許を持っていない方でも出来ます。支援員の仕事の中身で大きく違うことは1人で子どもさんたちの指導はできないということです。

市川委員 要するに教員免許を持っている方と一緒にやっているということですね。

学校指導課長 チームティーチングと呼んでおりますが、支援員は同じフロアの中に教員免許持った方がいて、その方が行っている活動をサポートしているのです。

市川委員 特別に部屋を持って、そこに1人でいてやっている方は支援員ではないということですね。

学校指導課長 そうなります。

と言いますのは、多くの子どもはみんなと一緒に勉強できるのですが、その子に寄り添ってあげなければいけない、例えば介助、立ったり座ったりができないというお子さんはみんなと同じ活動をしたときに、立ったり座ったり、あるいは移動に補助が必要だということには支援員が必要となります。

ただ、もう一方でみんなと同じこともできますが、中にはみんなとは別に個別に取り出して支援をした方がいいというお子さんについては、別室で指導する必要があるので、みんなと分けるとなると教員免許、教えるという行為が入りますので、教員免許を持っている方が必要になるのです。

支援員は、資格を特に求めているため、過去の実績を重視しています。また、赴任した学校の様子は指導主事が毎回必ず見に行っております。私も学校訪問に行った際には、必ず支援員、自立支援教員、図書館の事務の先生、事務室の市費の先生等、必ず市費の先生とは面談をしております。その中で仕事の様子を聞き、子どもたちのやりとりを1日かけて見せていただきます。そんな中でその方の資質等をキャッチするようにはしています。もちろん校長先生や教頭先生との面談の際に、支援員や支援教員の方たちについてもお話を伺っております。

市川委員 分かりました。学校訪問に行くとき先程お話した内容についてよく話が出来ますので、疑問に思っておりました。ありがとうございます。

赤羽教育長 他にありますか。

では、ないようですので、報告第1号については、報告を受けたこととします。

<報告第2号> 「第6回学都松本フォーラムの開催結果について」

教育政策課長 趣旨、開催内容、参加人数、分析、今後について説明

教育長 9月2、3日、両日に開催されました第6回のフォーラムについての報告です。ご意見等ございますか。

市川委員 私は推進協議会の委員として、最後までこの『「学ぶ」っておもしろい!』という言葉が、非常におもしろいと思っておりました。委員としてやらしていただき、やっている方も楽しまなくてはいけないと思いました。教育長が子どもたちに読み聞かせをしておりましたが、とても嬉しそうな顔でやっていると印象的でした。やはり、やる方がおもしろくないと、来ている方々も楽しめないということを経験させてもらいました。

来年は、企業の参加を募ったらどうかとも思いました。例えば、トイレの水の流れ方について、下水までの道筋を子どもでも分かるようなものをお見せできればいいのではないかとも思いました。

今回の会場についてですが、あがたの森文化会館の改修工事があり使用できないということで、松本城の中でやったらいいのではないかとも思いました。それと少し遠くなりますが波田公民館のような所でやってみるのはどうでしょうか。あがたの森でやることは非常に文化的にいいと思いますが少し外に出ることもおもしろいかなとも思いました。

花村委員 今、市川委員さんがおっしゃったことに大賛成です。確かに今までフォーラムは、会場をあがたの森とし何回か開催しましたが、近くの子どもの参加が多く離れた地域の子どもの参加が少ないと感じておりました。市川委員さんの言われたように出前教育委員会のような形で、ぜひ他の会場を利用して開催することに大賛成です。

それから参加についてですが、ここにも書いてありますが防災訓練と毎年重なっています。私は立場上、防災訓練の中の救助訓練に参加しなければならないのですが、学都フォーラムがあり毎回欠席しておりました。今年は防災訓練

に参加しましたが、日程を一週間でもずらすことでもう少し参加できるような気もしますがどうでしょうか。

赤羽教育長　もともと防災訓練は9月1日でした。防災訓練が後から入ってきたことが現状です。大体9月は学都フォーラムの次は農林業まつりが開催され後半になると運動会があります。明日、学都フォーラム推進委員会の振り返りの会がありますので、先程の話を市川委員さんにお話していただければと思います。

市川委員　来場者が2,000人程度です。1万人も来るとなると波田で開催は困難かと思いますが2,000人規模なら開催可能ではないでしょうか。

赤羽教育長　波田や梓川や西部の方たちが来てくだされば、いいじゃないですか。

この参加人数にそんなにこだわる必要ないと思っています。実際5人でもおもしろいと思っている人たちが分科会にいて、その人たちがおもしろいと感じずっと心に残り、自分が次にまた何かこれをきっかけに動き出したいと思う人がいれば、それで十分だと思うのです。勾玉づくりを毎年あそこでやってもらっていて、これをきっかけに何か古代史等に興味持ってくれる子が1人や2人でも増えればいいと思っています。大体この人数の差は、講演会の参加者の差だと思います。

定着して皆さん楽しんでいただいているけれども、逆に言えば、近くの人たちが多いというようなこともあるかもしれません。来年、あがたの森が使用できないことを逆に活かし方向も考えていかななくてはいけないと思います。

はい。福島委員、どうぞ。

福島委員　4の分析について教育長がおっしゃったように、人数自体は私もそれほど重要なことではないと思っていますが、防災訓練云々の話がありましたが、防災訓練が移動したために500人程減少したという分析だと思いますが、それ以外に要因があるのかどうかということの一つお聞きしたいです。それから、第4回から年を追うごとに数は減っています。ここに記載されている「一部催事では参加人数の増により待ち時間が発生する等、混雑する場面もみられたため着実に学都松本フォーラムが定着してきていることが伺えます」という分析が余りにもざっくりしていて、私はこの分析は理解ができません。おそらく、今回は分析がまだ十分ではないのかもしれないかもしれませんが、アンケートでも貴重な意見等が沢山あると思いますので、今後に繋げるためにもアンケートの分析をき

ちんとすることが大事だと思います。そして、これまでの経過も踏まえて、ぜひ引継ぎをしていかないと、定着させるために必要なものが見えてこないと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

教育政策課 ありがとうございます。原因はこればかりではなく、おそらくいろいろあると思います。一つ考えられるのは、飲食ブースをやめたことです。食べるブースがないことでお昼をとりながら午後も見るという方がかなり減ったと思われます。

今後、実行委員会で報告書を作成した中で詳しく分析していきたいと思いません。

赤羽教育長 他にご意見等ございますか。

では、分析等いただき来年に活かしていただくようお願いいたします。

それではよろしいでしょうか。

では、報告第2号は報告を受けたこととします。

<報告第3号> JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果について

教育文化センター所長 報告第3号「JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果について」趣旨、開催内容、参加人数、ツアー内容アンケート結果、今後について説明

教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

福島委員 参加者の対象が小中学生ということでしたが、小学生は低学年も高学年どちらも参加可能でしたでしょうか。

教育文化センター所長 小学生は低学年も高学年も保護者同伴でしたら参加可能でした。

それから30名の内訳ですが、小学校1年生は1人、2年生は2人、3年生が1人、4年生は2人、5年生が5人、6年生が1人の合計12人。中学1年生は3人、3年生は2人の中学生は5人ということで、子どもは17名。保護者の方が13人の計30人でした。

市川委員 保護者も含めて30名ですよ。参加倍率が9.83倍とかなり高いです。もう少し多くの子どもたちが行かれるようにしていただけたらと思います。

教育文化センター所長 今年、市のバスを利用したため30名が定員でした。来年は、民間のバスを利用する等検討していきたいと思いません。

教育長 それでは、報告第3号についてはよろしいでしょうか。
 では、報告を受けたこととします。

<報告第4号> 第38回姫路市・松本市中学生交歓キャンプの実施結果について
学校教育課長 報告第4号「第38回姫路市・松本市中学生交歓キャンプの実施結果について」趣旨、概要、成果等を説明

教育長 私も参加させていただいたのですが、今年は上高地の天気が何か天気の悪い合間をぬって奇跡的に良くなりました。また天気に恵まれ奇跡の4日間という感じでした。子どもたちの熱意のおかげかなと思っています。
 それでは、報告第4号についてはよろしいでしょうか。
 では、報告を受けたこととします。

<周知事項1> 「第58回松本市芸術文化祭」及び「第61回お城まつり」の開催について

<周知事項2> 松本市市制110周年記念事業「第23回図書館まつり」の開催について

<周知事項3> 松本市市制施行110周年記念／松本市美術館開館15周年記念「彫刻家・細川宗英展 人間存在の美」の開催について

<周知事項4> 松本市市制施行110周年記念 松本市立博物館本館・分館の企画展開催について

<周知事項5> 乾小天守旧鯨の確認について

教育長 予定されていた案件は以上で終了しました。全体をとおして何かございますか。

 ないようですので、事務局からお願いします。

教育政策課長 来月は、19日が研究会、26日が定例教育委員会となります。なお、会場は移動教育委員会として第三地区公民館で開催し、19時から地区の皆さんと語る会を開催しますのでよろしくをお願いします。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、平成29年度第6回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後16時35分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

堀 敬子

会 議 録 署 名 委 員

市川 莊一

花村 潔